

令和 3 年 第 1 回

伊根町議会定例会会議録

令和 3 年 3 月 11 日 (第 2 号)

伊 根 町 議 会

令和3年第1回（定例会）

伊根町議会 会議録（第2号）

招集年月日	令和3年 3月11日 木曜日						
招集場所	伊根町コミュニティセンター ほっと館 ふれあいホール						
開閉の日時 及び宣告者	開会	令和3年 3月11日 9時27分			議長	濱野茂樹	
	散会	令和3年 3月11日 13時40分			議長	濱野茂樹	
応（不応）招 議員及び 出席並びに 欠席議員	議席番号	氏名	出欠	議席番号	氏名	出欠	出席 9名 欠席 0名
	1	和田義清	○	6	大谷 功	○	
	2	上辻 亨	○	7	松山義宗	○	
	3	長谷川貴之	○	8	佐戸仁志	○	
	4	中嶋 章	○	9	濱野茂樹	○	
	5	山根朝子	○				
地方自治法 第121条 の規定によ り説明のた め出席した 者の職氏名	職	氏名	出欠	職	氏名	出欠	出席10名 欠席 0名
	町長	吉本秀樹	○	住民生活課長	増井和彦	○	
	副町長	上山富夫	○	保健福祉課長	石野 靖	○	
	教育長	岩佐好正	○	地域整備課長	白須 剛	○	
	総務課長	鍵 良平	○	教育次長	石井明博	○	
	企画観光課長	千賀和孝	○	会計管理者	須川清広	○	
職務のため 出席した者 の職氏名	議 会 事務局長	倉 正人	○	主 事	千賀さゆり	○	
会 議 録 署名議員	2番	上辻 亨		8番	佐戸 仁志		
議事日程	別紙のとおり						
会議に付 した事件	別紙のとおり						
会議の経過	別紙のとおり						

令和3年 第1回 伊根町議会定例会

議事日程 (第2号)

令和3年3月11日(木)

午前 9時30分 開議

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
- 日程第 2 議案第1号 令和3年度伊根町一般会計予算
- 日程第 3 議案第2号 令和3年度伊根町国民健康保険特別会計予算
- 日程第 4 議案第3号 令和3年度伊根町簡易水道特別会計予算
- 日程第 5 議案第4号 令和3年度伊根町下水道事業特別会計予算
- 日程第 6 議案第5号 令和3年度伊根町財産区特別会計予算
- 日程第 7 議案第6号 令和3年度伊根町介護保険特別会計予算
- 日程第 8 議案第7号 令和3年度伊根町訪問看護事業特別会計予算
- 日程第 9 議案第8号 令和3年度伊根町後期高齢者医療特別会計予算

会議に付した事件

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
- 日程第 2 議案第 1 号 令和 3 年度伊根町一般会計予算
- 日程第 3 議案第 2 号 令和 3 年度伊根町国民健康保険特別会計予算
- 日程第 4 議案第 3 号 令和 3 年度伊根町簡易水道特別会計予算
- 日程第 5 議案第 4 号 令和 3 年度伊根町下水道事業特別会計予算
- 日程第 6 議案第 5 号 令和 3 年度伊根町財産区特別会計予算
- 日程第 7 議案第 6 号 令和 3 年度伊根町介護保険特別会計予算
- 日程第 8 議案第 7 号 令和 3 年度伊根町訪問看護事業特別会計予算
- 日程第 9 議案第 8 号 令和 3 年度伊根町後期高齢者医療特別会計予算

会 議 の 経 過

令和3年3月11日(木)
午 前 9時27分 開議

◎ 開議の宣言

○議長(濱野茂樹君) 皆さん、おはようございます。

数多くのかけがえのない命が失われ、かつてない被害をもたらした東日本大震災から今日で10年を迎えました。この震災により犠牲になられた方々に衷心より哀悼の意を表しますとともに、今なお不自由な避難生活を送られている皆様の生活が安定され、一日も早い復興を遂げられますようお願いいたします。

震災で犠牲となられた方、全ての方々に哀悼の意を表するため、黙禱を行いたいと思います。

全員ご起立いただき、黙禱をお願いします。

黙禱。

お直りください。

それでは、ご着席ください。ありがとうございました。

ただいまの出席議員は全員です。

これより直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

◎ 日程第1 会議録署名議員の指名

○議長(濱野茂樹君) 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第123条の規定によって、議長において

2番、上 辻 議員

8番、佐 戸 議員を指名します。

以上の両議員に差し支えのある場合は、次の号数の議席の議員をお願いします。

◎ 日程第2 議案第1号

○議長(濱野茂樹君) 日程第2、議案第1号 令和3年度伊根町一般会計予算を議題とし、これから質疑を行います。

なお、質疑は慣例により歳入全般を一区切り、歳出の1款議会費から4款衛生費までを一区切り、6款農林水産業費から8款土木費までを一区切り、9款消防費から14款予備費までを一区切り、合計4区切りとして行いますので、よろしくをお願いします。

また、十分審議を尽くせるよう、令和3年度全会計予算議案の質疑の回数は、事情が許す限り制限しないこととしたいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(濱野茂樹君) 異議なしと認めます。令和3年度全会計予算議案の質疑の回数は、事情が許す限り制限しないことと決定しました。十分な審議が尽くされることを期待します。

なお、質疑の際は予算書ページ、事業名の後、質疑いただきますようお願いいたします。

初めに、一般会計予算の歳入全般を対象として質疑を行います。8番、佐戸議員。

○8番(佐戸仁志君) 19ページの使用料、大西駐車場使用料ですが、1月、2月、積雪が予測されるため、封鎖されておりました。観光のために造られた駐車場なのですが、交通安全という面でも大事な駐車場であります。封鎖されている1月ですか、冬イカが大西で夜、釣られている頃、今年の釣りブームというのもありまして、駐車場から車があふれていて、日出の神社付近まで車が並ぶというようなことが夜ございました。積雪は天気予報さえ見ていれば、いつ降り始める、いつ降り終わるといのが予測できます。できることならば、早々と閉鎖することなく、その都度その都度トラロープを張る、パイロンを立てるということで対応していただいたほうが、料金も稼げる

と思いますし、交通安全上、大事なことだと思いますが、どう思われるかお聞かせ願いたいと思います。

○議長（濱野茂樹君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 大西駐車場の第1駐車場につきましては、議員おっしゃられたとおり、1月、2月につきましては閉鎖をさせていただいております。それによりまして、施設管理料のほうを低減しております、議員がおっしゃられましたように、雪が降ったときだけ閉めるということの対応にはちょっと難しいかと思いますが、今年、利用が多かったということも事実でございますので、次年度以降、閉鎖するかしないかということでもまた検討させていただきたいと思っております。

○議長（濱野茂樹君） 2番、上辻議員。

○2番（上辻 亨君） 22ページの国庫補助のところ、23ページにかけて重要伝統的建造物群保存事業補助金ということで、今年度は前年度に比べて2,000万円から約1,000万円増額になっております。以前はこの重要伝統的建造物群を修復していくのに、限られた金額で1年間事業をしておったようにお聞きしていたんですが、今年に限っては何でこんなような増額があったんでしょうか。

○議長（濱野茂樹君） 石井次長。

○教育次長（石井明博君） 昨年度につきましては、少額の修繕といいますか、件数も若干少なめで、かつ申請された方の事業費といいますか、それが例年に比べると少なかったということなんですけれども、今年度は件数も多くて事業費もそこそこということで、そこから予算額の上限を定めて来年度にお願いするということもありますが、要望があった分を計上させていただいたということで、国といいますか、府や国のほうも落とさなさいというような指導もなかったのです。

ただし、申請があってその額を上げておりますが、国の事前の調査でこの事業については採択が難しいと言われたものは、その指導をさせていただいて、次年度以降に回されるものもあります。

○議長（濱野茂樹君） ほかに質疑はございませんか。質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（濱野茂樹君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

次に、歳出1款議会費から4款衛生費を対象として質疑を行います。5番、山根議員。

○5番（山根朝子君） 民生費の子育て支援共通事務費、85ページの18の負担金です。病児・病後児保育事業に11万3,000円が計上されています。これは説明では実態に合わせた予算計上というふうに説明されたと思うんですけれども、全体で利用者は何人だったんですか。また、伊根町の利用者は何人だったか教えてください。

○議長（濱野茂樹君） 石野課長。

○保健福祉課長（石野 靖君） 病児・病後児保育の利用の状態をという質問だと思います。

この事業は令和元年度途中から行われた事業で、元年度決算につきましては決算付属書のほうでお示しさせていただきまして、ちょっと細かな数字までは覚えていないんですが、利用はもう限りなく皆無に等しい、1桁の利用でありました。伊根町からの利用はありませんでした。令和2年度につきましては、まだ事務局側から、与謝野町が事務局を担っていただいているんですが、詳細聞いておりませんので、今ちょっとお答えすることはできません。

ただ、事業の性質上、本来でしたら保育園に通われるところが病気により登園ができない方を、さらに親御さんが見られない方を預かるというもので、利用がどんどん伸びることが望ましい事業ではないということをご理解いただきたい事業と思います。

○議長（濱野茂樹君） 7番、松山議員。

○7番（松山義宗君） 46、47ページです。地域公共交通確保維持費の中の地域交通に関する委員というところなんです、令和元年度の決算では10万円、それから令和2年度の予算で15万、今年度が22万というふうになっているんですが、この内容と、それから今後、来年度、令和3年度に行おうとすることについてちょっとお知らせください。

○議長（濱野茂樹君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 地域公共交通会議につきましては、毎年2回分の予算計上をさせていただいておりますが、議題によっては会議を開催せずに、文書協議という形で終わる年もございます。それによりまして、支出額の増減がある年があります。令和3年度につきましては、デマンド交通への移行を予定しておりますことから、会議回数が増えることを予想しておりまして、3回分の予算計上をさせていただいております。それによりまして、例年より若干多めの予算計上となっているところです。

内容につきましては、通常の会議のほか、令和3年度はデマンド交通への協議をお世話にさせていただきたいということで思っております。

○議長（濱野茂樹君） 7番、松山議員。

○7番（松山義宗君） そのメンバーとなる方というのをちょっとすみませんがお知らせ願えますか。

○議長（濱野茂樹君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 委員につきましては、23名の委員の方でお世話になっておりまして、自治会の代表の方、それからPTA、それから公共的な機関としましては、国の機関、それから京都府、警察、道路管理者、それから伊根町内で公共有償運送をお世話になっている社会福祉協議会、障害者の団体等ございまして、それから行政としまして、役場のほうからも3名の課長、教育長が参加させていただいております。

○議長（濱野茂樹君） 1番、和田議員。

○1番（和田義清君） 予算書ページ、51ページの国の採択が決まれば行うという再生可能エネルギー活用型地域振興事業についてお伺いします。

全協でも一部大まかな説明をさせていただいたんですけれども、業務委託費の5,500万、これのデマンド予約でいねばんを使うとか、地域新電力の会社の設立等を聞きましたけれども、もう一度、大卒のこの5,500万の内訳というか内容、口頭で結構なんでちょっと教えていただけますでしょうか。

○議長（濱野茂樹君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 委託料の積算なんですけれども、これにつきましては、直接人件費と諸経費、技術料、ほか直接経費というような内訳でしておりまして、直接人件費の中にはEVデマンドモビリティシステムの実証実験運行のための計画策定、説明会や広報活動、実証実験の間の人件費等が算定をさせていただいております。

それから、大規模電力を主電源とした地域新電力の検討の中では、事業者ヒアリング、町内電力需要量調査、それから発電量予測等の調査分析などを行う人件費を計上させていただいております。

それから、直接経費といたしましては、実証実験を行う際の広報資料、それからEV車両3台のレンタル料、それから実証実験を行う事業者への委託費、電力量の調査では電力量モニター、スマートメーターに似たような機械なんですけれども、そのレンタル費300戸分を計上させていただいております。

○議長（濱野茂樹君） 1番、和田議員。

○1番（和田義清君） ありがとうございます。

続きまして、その下の同じく51ページの一般企画費で、本年度も地方創生有識者会議のほうで19万円と、検討委員会で10万円予算計上されております。このメンバー構成というのは、これまでと同じようなメンバー構成でいくのか、それとも何か新しく変わった方面というか、年代とか、これまでの反省点を生かしてメンバー構成があるのか、その辺をお聞かせ願います。

○議長（濱野茂樹君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 有識者会議のメンバーにつきましては、これまでどおりと同じメンバーをお願いをさせていただきたいと思っております。各地区の代表の協議会長様、それからPTA、あけぼの会等の保護者の方と、それから産業界、商工会や観光協会の代表の方々の委員構成となっております。

○議長（濱野茂樹君） 2番、上辻議員。

○2番（上辻 亨君） 79ページの高齢者等在宅除雪費補助金、これ10万円、5世帯分、1回

が3分の2の補助率で、補助金の上限が2万円というふうにお聞きしました。1人に対する回数の制限がないということなんでしょうが、午前には朝方すかしていただいて、車椅子等で病院とか行かれておられる方がうちの地区において、午後にもすかしてほしい場合、午後とかでももう利用が可能なかどうかお聞きしたいです。

○議長（濱野茂樹君） 石野課長。

○保健福祉課長（石野 靖君） この事業につきましては、積雪量が50cmという一定の基準を設けております。当然、除雪前、除雪の後ということで、除雪をしたことの確認できるものをつけるようにしております。1日の間にさらにまた50cmを超えるような積雪があった場合は、当然、必要な事業と判断しますので、そのような場合は連絡いただいて、利用いただいたらいいものと思います。

○議長（濱野茂樹君） 2番、上辻議員。

○2番（上辻 亨君） 除雪される作業員の方は専門の方が、言うたら土木関係の方が来てやってくれるんですか。地域でせえというのか。

○議長（濱野茂樹君） 石野課長。

○保健福祉課長（石野 靖君） 実施要綱上は、土木事業者に依頼とさせていただいています。地域の方となると金額面での算出等々も難しくなると思いますので、できることなら土木事業者にお願ひしていただきたいと考えております。

○議長（濱野茂樹君） 6番、大谷議員。

○6番（大谷 功君） 49ページの伝建活用事業の業務委託ですが、説明の中では構造物を活用して、建物の保存に併せて文化振興と多世代交流を目的とすると聞かせていただいておりますが、伊根町らしい文化施設というのを期待するところなんですけれども、具体的な青写真というか構想というのがもう少し分かりましたら、聞かせていただければありがたいです。

○議長（濱野茂樹君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） もともと建物の所有者の方が歴史的な活動を重点にやられておったということもありますので、伊根町の歴史なんかの資料収集、展示などもできないかなということも視野には入れさせていただいております。説明にありましたように、図書情報室、ICTルーム、学習ルームを備えまして、改修完了後には小学生のプログラミング教室とか、高齢者のスマホ教室といった、そういったことも実施を地方創生の中で考えさせていただきたいと思っております。

○議長（濱野茂樹君） 3番、長谷川議員。

○3番（長谷川貴之君） 予算書の67ページです。

中段の経済センサス活動調査費ということで、例年、各統計調査等があるんですが、近年こういった調査はオンライン回答が増えてきておると思っています。そういったことで、調査員の調査活動というのは軽減されていると思うんですが、今後のこの報酬や手当というのは減少していくものなのか、それとも今までどおりのものなのか、その辺をお聞かせください。

○議長（濱野茂樹君） 鍵課長。

○総務課長（鍵 良平君） ただいま統計調査員の報酬についてのご質問をいただきました。

ご質問の中でご指摘をいただいておりますとおり、オンライン調査が増えてきております。ただ、現実には伊根町内で調査をさせていただいておりますところでは、そんなに多くはないというのも実はありまして、オンライン調査が進めば調査員さんの負荷が軽減されるのはご案内のとおりなんですけど、実際には手作業による統計調査票の配付、収集というところもありますし、また、配付については従来どおりの形が多く選択されております。

今後これが減少するかどうかというのは、そもそもこの統計調査、委託事業でございまして、国の指定統計でございまして。やり方そのものは国のほうで決められますので、どのぐらいの調査客体に対してどのぐらいの調査員の数かというのは、全て国の指示に従っております。そういうことでございまして、現時点で町の統計管理部門で今後どうなるかというのは、なかなかお答えしにくいというのが実態でございまして、そのあたりをご了承いただければと思います。

○議長（濱野茂樹君） 1番、和田議員。

○1番（和田義清君） すみません、先ほどの大谷議員の質問の関連質問になるんですけれども、

49ページの先ほどの伝建物の活用事業の中で、図書ルーム、ICT、またコミュニティー等のところを造って活用されるということで、全く反対するものでも何ものでもないんですけども、図書ルームを造るということは、こちら今、役場のほうにある図書館というのは全く残しておいて別ですか、それとも今ある図書館のほうをこちらのほうに移動してやるということか、その辺をお聞かせ願いたいんですが。

○議長（濱野茂樹君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 現在、ほっと館に設置されています図書情報室をこの施設ができればそちらに移転をさせていただきたいというふうに思っております。所管する教育委員会のほうと調整をさせていただいております。

○議長（濱野茂樹君） 1番、和田議員。

○1番（和田義清君） ということは、その後また違う活用をするということになろうかと思っておりますけれども、そのあたりの予算計上等は今回のこれには入っていないんですかね。現在の図書情報室に何かをつくるための予算というのは。

○議長（濱野茂樹君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） はい。今年度予算では施設の設計費のみでして、そういった費用はまだ計上させていただいておりません。

○議長（濱野茂樹君） 8番、佐戸議員。

○8番（佐戸仁志君） 関連で。

せっかくあの後ろの土地が地主さんから買えたみたいで、思い切って駐車場を造るために後ろへ建物をバックするというような考えがあって、今回の業務委託で設計をされるのかどうか、ちょっとお聞かせ願いたいと思います。

○議長（濱野茂樹君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 議員おっしゃられるように、後ろの用地も取得させていただいておりますので、曳家で後ろにという方法もありかと思うんですけども、伝建の趣旨からいきますと、町並みの保存というところもありまして、そこを後ろに持っていくことによって、今の町並みという観点の検討も必要かと思っています。

それから、土地の形状が若干狭まっていくような形になっておりますので、そのまま後ろに曳家するというのが物理的に可能かどうかというのもあるかと思っておりますので、そういったことも含めまして、設計には当たらせていただきたいと思います。

○議長（濱野茂樹君） 1番、和田議員。

○1番（和田義清君） 71ページの社会福祉の推進事業の件についてお伺いします。

昨年度と218万1,000円の増ということで伺っております。増額要因の要望としては、18番の補助金のボランティアコーディネーターの設置補助と住民参加の地域福祉事業補助金、福祉有償運送サービスの補助金、地域共生社会実現サポートの事業補助金ということでご説明を受けましたが、具体的にどういった内容の支援の声が上がってこのような増額になったか、その辺をちょっとお聞かせ願えますか。

○議長（濱野茂樹君） 石野課長。

○保健福祉課長（石野 靖君） 社会福祉推進事業の補助金の増額の件であります。

これ補助金の中の一番上が社会福祉協議会活動費補助金、これにつきましては、社会福祉協議会の職員の人件費に対する補助であります。ほかボランティアコーディネーターにしても同様、社会福祉協議会内の職員への人件費補助であります。

近年、泊泉苑について指定管理を行っていることなどから、一定額での補助を検討してまいりました。実態としましては、おおよそ9割の補助をどのように続けていくかというところを今後も協議を重ねていく中で、向こう3年間、もしくは向こう5年間を見据えて総額的に9割の補助を行うこととなると、前段の年度で割と多めに補助し、中ほどの年度で平均的な額になり、後年度は前段で多めの補助を充てての人員費補助になるような試算になりまして、前の年度に後年度の分を多く補助するのめいかなものかというところを社協さんとも議論し、理事者とも調整する中で、もう9割というものが決まっているのなら、毎年増額となっても人員費見合いの9割の補助でいこうと

いうところに落ち着きましたので、今回、前年度と比較しまして多くの補助を打つこととなりました。そこがこの増額の大きな要因であります。

そのほか、福祉有償運送補助につきましては、今年度実績を見まして、利用の実態に伴って赤字が増える見込みでしたので、これらも今年度実績を見込んでの増額とさせていただいております。その点がこの補助金全体での大きな増額要因となっております。

○議長（濱野茂樹君） 1番、和田議員。

○1番（和田義清君） ということは、今後、人件費の上昇率に合わせてこちらのほうも増えていくというような認識でよろしいのでしょうか。

○議長（濱野茂樹君） 石野課長。

○保健福祉課長（石野 靖君） はい。議員お見込みのとおりでありまして、人件費に基づいて9割の補助をしていこうと考えております。

○議長（濱野茂樹君） 8番、佐戸議員。

47ページの地方バス路線維持費補助金なんですが、丹海に対する補助金だと思われませんが、コロナ禍以前は海外からのお客さんでバスがいっぱいになるようなすごい人が乗っていたと思いますが、今、高校生がちょろっと乗とるぐらいで運行していると思われまして。

伊根町が1,943万9,000円の補助をするということは、宮津、与謝野町、京丹後市、福知山市もかな、各市町村、補助をしているんだと思うんですが、この内訳が分かれば教えていただきたいと思っております。

○議長（濱野茂樹君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） すみません、ここで今ちょっと手持ちの資料がございませんので、後ほどとさせていただきたいんですが、路線ごとに補助を打っておりますので、丹後海陸交通にこの2市2町がする総額が全てしているものではございませんし、伊根町は伊根線、蒲入線、経ヶ岬線の3路線に対して支援を行っております。約3割程度が伊根町の負担となっていると思っております。詳細については後ほどとさせていただきたいと思っております。申し訳ありません。

○議長（濱野茂樹君） 1番、和田議員。

○1番（和田義清君） 予算書75ページの自立支援給付事業についてお伺いいたします。

前年度から約398万円の増ということで、増額要因は伊根の里の利用者か利用回数が増というふうにお聞きしておりますが、あと19節の補装具とか自立支援医療の給付費、いわゆる通院費、主な増額要因が伊根の里の利用者が増えての増額なのか、利用回数が増えての増額なのか、その辺がもし分かれば教えていただきたいんですが。

○議長（濱野茂樹君） 石野課長。

○保健福祉課長（石野 靖君） 自立支援給付事業のうちといいますか、事業費全体が増えた内容としまして説明させていただきましたとおり、特に伸びていますが、介護給付費・訓練等給付費の令和3年度予算でいいますところの8,884万9,000円のところでございます。この件につきましては、令和元年度の頃から実は上昇の傾向にありました。令和2年度につきましても、補正予算で増額計上させていただいております、おおむね令和2年度予算と同額の計上となっております。

議員が利用される方が増えたのか、利用されている方の回数が増えたのかというところで申しますと、利用者、使われる方の数が増えたと聞いております。

○議長（濱野茂樹君） 4番、中嶋議員。

○4番（中嶋 章君） 43ページの公用車管理費の車両の件ですけれども、この車両はどういう目的で、またどんな仕様というんですか、つくりになっているのか、その辺をお聞かせください。

○議長（濱野茂樹君） 須川会計管理者。

○会計管理者（須川清広君） 公用車の更新事業ということで、公用車ですので役場の公務に使っております。

また、今年度の更新につきましては、予定している車両につきましては、公務の中でも人を乗せて会議に行くとかいうときに使用する車両のほうの更新を考えております。

○議長（濱野茂樹君） 4番、中嶋議員。

○4番(中嶋 章君) 車の車種とかそんなんは分かりますか。

○議長(濱野茂樹君) 須川会計管理者。

○会計管理者(須川清広君) 現在、更新を予定している車両につきましては、セレナのほうで現在8人乗りの車両です。それを更新を考えております。車両につきましては、現在のところまだ特定はしていませんので、同様の8人乗りの車両に更新したいというふうに考えております。

○議長(濱野茂樹君) 1番、和田議員。

○1番(和田義清君) 予算書79ページのいきいき交流施設の関連予算ですけれども、昨年度のマイナス6万円の96万7,000円計上されております。

こちら説明のほうでは、かじか苑の管理というふうにご説明いただいたんですが、それでよかったですかね。

○議長(濱野茂樹君) 石野課長。

○保健福祉課長(石野 靖君) はい、いきいき交流施設管理運営費です。これ議員おっしゃるとおり、筒川にありますかじか苑の施設の管理運営費であります。

○議長(濱野茂樹君) 1番、和田議員。

○1番(和田義清君) こちらのほう、これまでの利用実績ちょっと分からないんですけども、3月9日、全協でもご説明ありましたように、朝妻小学校もしくは筒川文化センター、このあたりの利用実績を踏まえて、地元の方々と協議しながら長寿命化施設の、もしくはスマートな管理にしていく方向性で話を進めていくというふうに聞いております。こちらのほうも実績に合わせて将来的には効率的な管理にするという方向性でいっているのか、その辺をお聞かせ願いたいんですが。

○議長(濱野茂樹君) 石野課長。

○保健福祉課長(石野 靖君) 現在、効率化に向けた管理までは検討しておりません。利用の実態につきましては、与謝郡福祉会さんに委託しております寿茶屋としてこのかじか苑も利用しておりますので、一定程度、地域の方々の利用はあると聞いております。

○議長(濱野茂樹君) 6番、大谷議員。

○6番(大谷 功君) 53ページのコミュニティ助成事業です。

例年、これは250万だったかなというふうに思っておりますけれども、今年10万円減額されておるのは筒川地区の予算要望が少なかったのか、それとも京都府からの収入が少なくなると予想されるのかどちらでしょうか、お聞かせください。

○議長(濱野茂樹君) 鍵課長。

○総務課長(鍵 良平君) 大谷議員が今ご質問の中で指摘していただきましたとおり、筒川地区区長協議会の皆様から要望を出していただきまして、その集計額がこの240万円ということで、250万円の満額をお使いにならないご要望をいただきましたので、このような予算計上とさせていただきます。

○議長(濱野茂樹君) 3番、長谷川議員。

○3番(長谷川貴之君) 同じく53ページです。

交通安全対策費の中で光熱水費、これはLEDの設置により減少されたと先日の全協でお聞きしております。これは通学路の街灯かと思うんですが、学校の統廃合によって通学路がスクールバスの運行になった路線についての今後のこういった街灯の維持、また修繕していくのか、撤去される方向なのか、その辺お聞かせください。

○議長(濱野茂樹君) 鍵課長。

○総務課長(鍵 良平君) 交通安全対策費の光熱水費でございますが、今ご質問の内容は、通学路として設置したものが今後スクールバスの運行によって徒歩または自転車通学することがなくなった場合に、その先をどうするのかということでございますが、街路灯つけた発端としましては、当時、通学路の安全確保という意図でございます。しかしながら、一旦つけまして、車両交通の際にも一定程度の安全確保には役立っておるというふうに考えるところでもございますし、そこを積極的にもう徒歩通学、自転車通学がないからという理由で撤去していくということは、なかなか交通安全上の問題としては考えにくいかなと。

そうなった場合に、まだ設置されていない部分がどうなのかというところも問題としては出てこ

ようかとも思うんですけれども、現在のところは設置したものをわざわざ撤去して、安全面についてあるときよりもないほうが、より安全性としては低い状態になるのをよしとするという考え方はないということで、現在このまま継続をさせていただいております。

○議長（濱野茂樹君） 8番、佐戸議員。

○8番（佐戸仁志君） 85ページのお子さまたんじょう祝金75万円、私の記憶では1人5万円だったと思うんですが、今年は15人ということとなっていると思うんですが、年も取ってきまして、なかなか子供さんの生まれている感覚が私には分からないんですが、伊根の保育所を見ておる限りでは、子供が増えているのではないかなという感覚だけがございます。できれば昨年より前の3年間ぐらいの出生者の人数が分かれば、教えていただきたいと思います。

○議長（濱野茂樹君） 石野課長。

○保健福祉課長（石野 靖君） お子さまたんじょう祝金に絡んでのここ近年の出生の状況の質問かと思います。

ちょっと細かな正確な数値は今手元にありませんが、おおむね10名を超えて15名までぐらいでこの3年ぐらいは推移しております。ですから、令和3年度予算につきましても、議員おっしゃられた1人当たり5万円の15件分の計上です。近年の実績見合いがこの予算にも計上させてもらっておる格好になっております。

○議長（濱野茂樹君） 7番、松山議員。

○7番（松山義宗君） 68、69ページです。職員人件費についてちょっとお伺いします。

令和2年度が8,597万、今年度が9,986万と差額が1,389万円ぐらい増になっておるわけなんです、その中で会計職員の報酬というものが216万円、前年度が89万円になっております。職員さんを増やされるということはお聞きしておりますが、これによって何が改善されて、残業がゼロになるのかというふうなことをちょっとお伺いします。

○議長（濱野茂樹君） 石野課長。

○保健福祉課長（石野 靖君） 職員人件費の増額のことかと思うんですが、この職員人件費につきましては、当初予算は前年度、この令和3年度予算でしたら令和2年度の実態に基づいて、引き続き予算を計上しております。

当初予算計上後、職員の人事異動等が行われた場合、当然9月で補正予算として増えるところ、減るところがあります。その9月補正予算後に基づいて、当初予算、職員人件費、正規職員、そこはそのあたりで推移してきておるものであります。会計年度任用職員につきましても、令和2年度が制度導入初年度であったため、適正にフルタイムは給料で、パートタイムは報酬として上げていく中で、なかなか見込みにくいものがあつたりしたところがございます。それを令和2年度の9月の人件費の補正と併せて補正しておりますので、おおむね前年度と同様の推移で来ております。

このことによって超過勤務が減るのかどうか、目に見えた増員ということにはなっておりませんので、例えば今年度でしたら、保健センターでの事業を外部の事業主さんに委託するなど考えましたので、そういったことで効果を表していったり事業を精査するなど、個々に気をつけていくべきものかと考えております。

○議長（濱野茂樹君） 鍵課長。

○総務課長（鍵 良平君） 今、おおむね石野課長が申し上げたとおりなんでございますが、当初予算の段階で計上させていただいております人件費につきましては、伊根町職員の平均額で各費目にひもづけられる職員の数に乗じて積算しております。会計年度任用職員さんにつきましても、制度導入時に説明を申し上げました昇給といいますか、制度上は前歴換算ということになるわけですが、前の年に続いて任用された方につきましては昇給いたします。そういったところを含めての平均額掛ける予想配置人数で計上させていただいております。

また、社会福祉総務費のところでは、令和2年度に育児休業になりました職員の令和3年度分の代替え職員をカウントしたことで、一気に金額が増えたということもございます。

このような理由で、人件費は増減いたしておりますということを説明させていただきたいと思えます。

○議長（濱野茂樹君） 4番、中嶋議員。

○4番（中嶋 章君） 61ページの個人番号カード交付事業、お尋ねいたします。

国のほうはデジタル化社会に向けて普及を推し進めていらっしゃるんですけども、なかなか普及は進まないということで聞いております。去年と比べて予算が増額されているんですけども、町の普及というんですか、その辺のどれぐらいの普及があるのか。また、交付事業に150万余り、これだけ要するんか、その辺がちょっと疑問に思うんですけども、実際、事業としてこれだけ費用がかかるものなんでしょうか。

○議長（濱野茂樹君） 増井課長。

○住民生活課長（増井和彦君） 中嶋議員の質問にお答えをさせていただきます。

個人番号カードの交付事業ですが、個人番号カードを集中管理する地方公共団体情報システム機構に負担金を拠出するものでございます。そちらのほうから伊根町さんは幾ら負担してねというふうにして、一応、金額が決まっておるものでございまして、今年度は昨年度から25万5,000円上乘せといえますか、増えております。財源も、これは国から満額補助を見込んでおるものでございます。国からも、個人番号カードにつきましてはさらに普及促進に努めるように言われておりますので、伊根町におきましても積極的な広報、それからいねばん等でも今後も交付の増加をしていきたいなというふうに思っております。

現段階では、令和3年2月現在で交付申請件数が397件、それから交付枚数が306件ということで、申請率約18%ということになっております。府下の中で一番多いのは南山城村が32%、20%を切つとるのが京丹後、南丹、久御山、井手、和東、京丹波、与謝野、伊根といったところが20%を切つとるところで、普及に努めていかんのかなというふうに思っております。

以上です。

○議長（濱野茂樹君） 4番、中嶋議員。

○4番（中嶋 章君） 今後、健康保険証に代わるとか免許証にも代わるとか、そういうふうなことも聞くんですけども、まだまだそこまでは利便性というんですか、実感としてなかなか利便性を感じないんですけども、できたら健康保険証みたいなもの、町でも使えたらありがたいんですが、その辺はいかがでしょうか。

○議長（濱野茂樹君） 増井課長。

○住民生活課長（増井和彦君） マイナンバーカードと国保の保険証とのリンクにつきましては、現在もマイナンバーカードの中に国保なり、保険証の情報は取り込むことは可能なんです。ただ、それについてもまだ住民さんへの周知がなかなかうまくできていなくて、その辺も含めて住民さんには十分に周知をさせていただいて、そういった利用が今後進めていけるように進めていきたいというふうに思っております。

○議長（濱野茂樹君） 増井課長。

○住民生活課長（増井和彦君） 住民さんのほうがマイナンバーカードと保険証を一緒にさせるということは可能なんですけれども、それぞれの医療機関のほうで、まだその対応ができていないという医療機関が非常に多いということでございますので、その辺も今後進めていけたらなというふうに思っております。伊根診療所、本庄診療所についても、そういったことも十分に検討していきたいというふうに思っております。

○議長（濱野茂樹君） 1番、和田議員。

○1番（和田義清君） 予算書86、87ページの保育所管理運営費についてお伺いいたします。

前年度から約397万円の増ということで、増額要因のほうで、伊根保育園の壁の修理であったりとか獣害フェンスの修理、一部、本庄保育所も含めて老朽化した部分の修理が増額要因と聞いております。その中で伊根保育園の獣害防止フェンス、こちらこれまでからもちょこちょこ上がっておるんですけども、今回の獣害フェンスに関しては、既存のもの修理なのか、新たに増設するものなのか、その辺が分かれば教えていただきたいんですが。

○議長（濱野茂樹君） 石野課長。

○保健福祉課長（石野 靖君） 伊根保育園の獣害対策であります。

今までから水路の上部にコンクリートを打ちつけたり、木の柵を打ちつけて、木の板で土が水路に落ちないように対策を講じてまいりました。ただ、コンクリートの上部の限界の点から、またイ

ノシシが土を掘り起こしたりしますので、どうしてもコンクリートだけでは対応できないのが分かりましたし、木の板を並べても、そこを超えての土が落ちることが分かりましたので、伊根保育園の近くでしたら火葬場がありまして、そちらの進入路のところに金網フェンスを一部張りつけたところがありまして、そこはやはり金網があるので、イノシシが掘り起こしにくいという特徴が見受けられますので、コンクリートの上部にさらに金網フェンスを設置しようと考えております。

○議長（濱野茂樹君） 1番、和田議員。

○1番（和田義清君） 答弁ありがとうございました。

何分、小さい子供たちが集まっている場所ですし、これまでからも猿の侵入とかイノシシが掘り起こしているのも多分に見受けられて、安心・安全の観点からもいわゆるもう抜本的にこのエリアには完全に入ってこれないというような、今おっしゃられた獣害フェンスを設置されるということなんで、しっかりと予算もしくは補正でもいいんですけどもかけて、子供たちの安心・安全を守る施策のほうをしっかりとやっていただきたいと思います。

それともう一点、伊根保育園が現在45人、本庄保育所が16人というふうに聞いております。昨年度にかけまして、伊根保育園の入園者の増員ということで改装されましたけれども、改装されて今、伊根、現在45人なんですけれども、あと何人ぐらいいけるかという、余裕の枠というのが分かりましたら教えていただきたいんですが。

○議長（濱野茂樹君） 石野課長。

○保健福祉課長（石野 靖君） 保育園の定員規模と利用の申請といいますか、利用実態の問題かと思えます。

伊根保育園のみならず本庄保育所につきましても、利用定員は45名と定めております。その中で45名の利用の申込みがあって、決定を打ったところです。利用定員のみを見ますといっぱいになったというところがございますが、令和2年度、近くを視察に行ったこともあったり、先日も指導監査を受ける中で、利用定員の考え方を聞かせていただきますと、一時的に定員を超えての受入れも可能と聞いております。どの程度可能かという人数でいいましたら、おおむね2割程度は超えても可能だと聞いておりますので、そのあたりで今後、園運営を進めていきたいと考えております。

○議長（濱野茂樹君） 7番、松山議員。

○7番（松山義宗君） 98、99ページ、不法投棄対策事業なんですけど、予算は全く変わっていないようなんですけど、ほとんど。大変きれいにパトロールもしていただいておりますが、町道がメインになるんじゃないかなと思うんですけど、割と国道沿いをずっと走っておられて、なかなか山の奥のほうまでは入っておられないような気がするんですけど、ルートだとか、例えば日報だとかというのを見せていただくというのは可能ですか。

○議長（濱野茂樹君） 増井課長。

○住民生活課長（増井和彦君） 松山議員の質問にお答えをさせていただきます。

基本的には、よく道路から分かりやすいところを収集はいただいております。さらに海岸清掃といたしますか、海岸に打ち上がったアシだプラスチックだといったものについても、こまめに収集をさせていただきます。さらに、なかなか作業員さんが危険なところに入って、けがでもされますと非常に心配ですので、あまり危険なところに入って作業といったことは、基本的には行っておりません。

日報につきましても、毎日どこを回収した、それからごみの量につきましても何t収集したといった、何tにもなりませんけれども、何kg、何十kg収集したということを日報もつけておりますので、住民生活課のほうに来ていただきましたら、その日報等は見せることは可能です。

○議長（濱野茂樹君） 2番、上辻議員。

○2番（上辻 亨君） 松山議員のちょっと関連なんですけれども、関連質問となります。

今のごみ、海岸から上がったものはパトロールの方が持っていつてくれると。伊根地区の中である業者の方が、民宿をやられている方が、海に、海岸に浮いているものは持っていつてくれないというふうに聞いておるんです。うちは前はすごいことごみが寄ってきて困るとるんだけど、それを海岸に上げんと取ってくれないのかどうかお聞きしたいです。

○議長（濱野茂樹君） 増井課長。

○住民生活課長（増井和彦君） 基本的に海面に浮いている浮遊物、海洋ごみにつきましては、なかなかそれを町が回収するということになりますと、非常に労力と費用もかかりますので、基本的に行っておりません。それぞれの舟屋だとかに入ったものを住民さんが引き上げていただいて、それを何とか回収に来てくれといった場合には、全て対応をさせていただきます。

○議長（濱野茂樹君） ほかに質疑はありませんか。質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（濱野茂樹君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

次に、6款農林水産業費から8款土木費を対象として、質疑を行います。2番、上辻議員。

○2番（上辻 亨君） 111ページ、有害鳥獣対策事業、この中にシカ捕獲強化事業報償金として4万円上げておられるんですが、この金額が、何か鹿が増えておるのにそんなこれぐらいの金額でいいのかなというふうな気がするんですが、そのことが1つ聞きたいのが1点と、あわせて、猿の捕獲、今年はこの地区で捕獲をされるのか。また、今年のイノシシ、鹿の捕獲量を教えていただきたいです。

○議長（濱野茂樹君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） まず、鹿の捕獲強化事業報償金といいますのは国の補助金でございまして、ある一定数を超えた分で補助が出るということで、例えばたしかちょっと細かい数字は分かりませんが、8頭でしたかね、7頭を超えた分で1頭何千円というもので、これよりも伊根町と京都府で支援している鹿を普通に有害捕獲したほうが単価がいいので、皆さんそちらで捕獲しておりますので、これは恐らく一応、名目上、国からの補助金で上げておりますが、よその市町で何千頭とか捕る場合には大いに活用されとると思いますが、伊根町ではこれまで1回も活用をしておりません。

次に、猿でございしますが、今、伊根B群を除きまして、伊根町内5つの群れがあります。全ての群れを個体数調整捕獲することとしておりまして、蒲入のほうの伊根A群につきましては、長延に捕獲おりを置いております。それから、B群はちょっと消滅しましたので、C群につきましては本庄上に、前、1回60頭を30頭に捕獲したおりがありますので、ここがまた増えておりますので、そこでまた減らすということをしております。

伊根のD群につきましては、最終処分場へ行く、泊の道沿いにおりを設置してはありますが、なかなか入りが悪いということで、今度、泊の要谷というシーサイドの下にまた捕獲おりを設置しまして、そちらで捕獲することをしていきます。

そして、最後の宮津A群につきましては、ここの先のトンネル抜けたところの防災用地の山側に捕獲おりを設置して、そこで捕獲するということと、宮津市でも一部捕獲をしていただいとるということで、おりについては5か所で集団捕獲をすることとしております。

次に、イノシシの捕獲数ですが、まだ年度末にならないとまとまっておりませんが、有害捕獲については例年並みは捕れとるのかなと思いますが、猟期の11月15から2月15の捕獲量は少ないと聞いております。例年でしたら200から300頭捕っておりますが、そこまでいっていないのではないかなと考えております。

○議長（濱野茂樹君） 1番、和田議員。

○1番（和田義清君） 予算書124、125ページの観光関連の施設管理運営費についてお伺いいたします。

今回は伊根町にあります2つの海水浴場のAEDを夏場のみのレンタルにすることで、予算のスマート化したというふうにお聞きしております。ちなみに、海水浴場を開催するときのAEDの設置場所とか管理者とかいうのが分かれば教えていただきたいんですが。

○議長（濱野茂樹君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 海水浴場の設置の際は開設者が自治会になりますので、自治会が設置して、監視員さんが常駐しているところにAEDは常備していただいとる認識しております。

○議長（濱野茂樹君） 1番、和田議員。

○1番(和田義清君) 続きまして、予算書126、127ページの大西と七面山にある駐車場管理運営費、これについてお伺いいたします。

業務委託として約90万8,000円で、全協ではゴールデンウィークと7月のお休み等云々を聞きましたけれども、これにたしか全協の説明ではお盆休みとかは入っていなかったんですけども、それはあえて入れなかった理由があればお聞かせください。

○議長(濱野茂樹君) 千賀課長。

○企画観光課長(千賀和孝君) どこまでを渋滞対策やるかというところなんですけれども、今年の実情等を見まして、観光協会と相談する中で、ゴールデンウィークは当然といたしまして、7月の22から25の4日間でよいかないところがありました。今年はシルバーウィークがあったんですけども、令和3年度はそこ3日間の休みになりますので、基本的に4日間の連休が重なるあたりを基準として渋滞対策をやっていこうというところで、観光協会と調整を行ったところなんです。

あわせまして、お盆期間については毎年のことではあるんですけども、対策をやるところまでは必要ないかなというのが協会との協議です。

○議長(濱野茂樹君) 1番、和田議員。

○1番(和田義清君) ということは、お盆期間はそんなに渋滞なくて、地域住民からの苦情もないと、そういう認識でよろしいですか。

○議長(濱野茂樹君) 千賀課長。

○企画観光課長(千賀和孝君) ゴールデンウィークやそういった大型の連休期間に比べると、少ないというふうには聞いております。

○議長(濱野茂樹君) 5番、山根議員。

○5番(山根朝子君) 先ほどの和田議員の質問に関係するんですけども、AEDのことなんですけれども、この管理は海水浴場の管理者の方がされると思うんですが、使用する講習会みたいなものというのは、海水浴場ごとにする必要があると思うんですが、もしできていなかったら、町のほうからもしなさいよというふうな指導をされるべきだと思うんですけども、そこら辺はどうなっていますか。

○議長(濱野茂樹君) 千賀課長。

○企画観光課長(千賀和孝君) AEDあっても使い方が分からなければということはあると思いますので、消防署等が開催される講習会への受講を自治会のほうにもお願いはさせていただきたいと思います。

○議長(濱野茂樹君) 7番、松山議員。

○7番(松山義宗君) 122、123ページ、職員人件費についてまた伺います。

この中に説明で集落支援員の増員ということがあったかと思うんですが、今現在、集落支援員という方は観光協会のほうに行かれていますと思うんですが、具体的に名前として集落支援員という、いろんな集落に行ってみたいな形を我々考えてしまうんですが、実際の業務内容といいますか、さらにもう一人追加されるということは、新たな何かを始めようとされているということなのか、その辺をちょっと伺いたいです。

それと、130、131の残土処分場の管理事業です。

前年度が654万、今年度が1,784万、新たな隣の調査も含まれているということなんですけど、実際に中に入られてどのような調査をされて、この振り分け、残土処分に係る業務委託の分と、それから今回調査されようとする分の内訳が分かりましたら教えてください。

○議長(濱野茂樹君) 千賀課長。

○企画観光課長(千賀和孝君) 123ページ、集落支援員についてですが、現在の配置しております1名の職員につきましては、観光協会のほうで集落と行政の間に入って、地域の課題を解決していただくという任務で配置をさせていただいております。具体的には、現在あります渋滞対策、それから湾内の水上ボートの乗り入れ対策について、現在はそういった協議を行う準備をしていたり、実際、会議を開催していただいたりといったところを主たる任務としてお世話になっております。

追加する1名につきましては、現在インバウンドのほうがコロナもありまして全くゼロなんです

けれども、今後コロナ終息を見据えまして、そういったインバウンドの対応と併せまして、今までですとそういった旅行者との協議なんかもあったんですけども、そういったところも今後必要になってくるだろうというところで、コロナ終息を見据えた対応を観光協会のほうで行っていくために、人員を配置したいと思っております。

○議長（濱野茂樹君） 松山議員、集落支援員についての説明は今のよりよろしいでしょうか。ほか、質疑ありませんか。7番、松山議員。

○7番（松山義宗君） これもう既にどなたかが決まっているということなんですか。それとも、今から募集をかけられるんですか。

○議長（濱野茂樹君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 集落支援員につきましては公募を行っておりまして、既に面接も終えて、採用予定者を決定させていただいております。

○議長（濱野茂樹君） 7番、松山議員。

○7番（松山義宗君） インバウンド対策というのは今までからずっとやられてきたことだと思うんですけども、さらなるということなんですか。

ちなみにいろいろと観光協会のほうに、お金がたくさん今現在落ちているように思うんです。新しい施設の管理についても706万、それから指定管理についても50万、それからほかにも357万とか、いろんなお金を合わせると、2,300万ぐらいが現在観光協会のほうに入っているかなと思うんですが、そこにさらに、どうしても分かりますよ、観光に伊根町が力を入れて一生懸命やろうということはあるんですけども、インバウンド対策として今現在いらっしゃる方ではちょっと足りないという感じになってきているんですかね。

○議長（濱野茂樹君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） インバウンド対策なんですけれども、従前から力を入れてさせていただいております。雇用をしていたんですけども、お世話になっていた方が開業されるということで退職をされております。その関係で、現在インバウンド対応の職員というのが配置ができていない状態になっておりまして、その対応というところで、今回、集落支援員という形で配備を考えさせていただきました。

それから、集落支援員につきましては、国のほうの特別交付税措置がありますので、そういった事も含めて、こういった補助金との兼ね合いで配置をさせていただいたというところなんです。

○議長（濱野茂樹君） 松山議員、よろしいですか。

では、残土処分場の管理事業について答弁をお願いします。白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） それでは、残土処分場管理事業の委託料のまず内訳とその内容ということで、内訳でございます。

まず、管理業務につきましては、昨年度と同様の654万7,000円で、同額を計上しております。

次に、新たに残土処分場建設のための測量調査設計業務、これが1,000万円を見込んでおります。

それから、立木補償の調査業務として130万円を見込んでおります。

これらを合わせて、1,784万8,000円で予算要求ということになっております。

○議長（濱野茂樹君） 6番、大谷議員。

○6番（大谷 功君） 109ページの農地農業用施設管理事業の調査業務ですが、ため池の調査ということで聞かせてもらいましたが、その調査項目というのは大体どんなことが調査されるのかお聞かせください。

○議長（濱野茂樹君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） この農地農業用施設調査業務につきましては、国のほうから国土強靱化に合わせて防災ため池の点検が重要ということで、国の補助金丸々10分の10で調査を行うものとしております。

その調査内容ですが、金額でも分かりますように、そんな、言い方悪いですけども詳細な調査というものではなく、老朽化状況の調査ということで外観調査しまして、例えば堤でしたらり面

が削られていないとか、周りにひび割れがないとか、そういう単純な調査になるのかなと考えておりますが、詳細についてはまだ発注とか設計しておりませんので、金額程度の調査になるということで、老朽化対策の外観調査だというふうに考えていただいたらよいかと思っております。

○議長（濱野茂樹君） 6番、大谷議員。

○6番（大谷 功君） 調査項目が分からないということなんですが、調査をされた後に不具合が結構見つかったなというような場合に、その後のメニューというのが準備されとるのかどうか。今回、国の事業でこれされるみたいなんですけれども、国の事業は大規模改修しか該当ないんですね。だから今までからずっと困るとるんですけれども、国の事業、府の事業で今後こういう小規模なため池改修ができるのかどうか、メニューが準備されとるのかどうかお聞かせください。

○議長（濱野茂樹君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 当然、点検するだけでは意味がありませんので、点検で危険な箇所、老朽化の箇所が見つければ、当然それについては改善していかなければならないと思いますが、議員おっしゃったように、全国もうすごい数の重要防災ため池ありますので、それに全て国土強靱化の予算が当たるかという、やはりどうしても大規模な改修とかさらに被害の大きなところが重点的になるかなというふうには予想しておりますが、そのあたりの改修メニューについてはまだあまり示されておきませんので、ちょっと今後研究して、できるだけそういう事業に乗れるようでしたら、もし修繕点が見つかりましたら、できるだけ有利なほうで動いていきたいとは考えております。

○議長（濱野茂樹君） 4番、中嶋議員。

○4番（中嶋 章君） 117ページの漁港管理事業でお尋ねいたします。

業務委託に浦島漁港の河口しゅんせつとなっているんですけれども、海が荒れるとたちまちもうすぐ河口が砂で埋まって、船の出入りができないみたいなんですけれども、年間、何回これは予定されて、定期的にされるのか、その都度されるのか、その辺はいかがでしょうか。

○議長（濱野茂樹君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 当初予算では、毎年4回分を計上させていただいております。これにつきましては、ワカメ狩りのシーズンとかアオリイカのシーズンとか、漁獲量が多い時期に合わせてしゅんせつ依頼があるということで、地元のほうも年に4回は確保していただいております。このあたりが有効的かというのを考えながら、地元から要望があったときにそれに対応して行って、4回で終わるようにお願いをしております。

○議長（濱野茂樹君） ほかに質疑はありませんか。8番、佐戸議員。

○8番（佐戸仁志君） 127ページの七面山トイレなんですけど、また舟屋風の木造のトイレができると思うんですけど、コロナ禍の影響で便器が全くないとかいうようなことが、いろいろと現在始まっております。完成がきっと秋ぐらいになるんだと思うんですけど、その辺の調整が把握できているかどうかお聞かせ願いたいと思います。

○議長（濱野茂樹君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 伊根花火の開催の有無によって、工期というのはちょっと調整が必要かと思っております。そういった今設備の不足があるということも踏まえた工期設定をして、発注を考えたいと思います。

○議長（濱野茂樹君） 7番、松山議員。

○7番（松山義宗君） すみません、集落支援員についてちょっとお伺いしたいんですけど、次なる予算ということも考えて思うんですけど、この配置要件とか、あるいは山側に配置するとか、集落に配置するとかというんな規定についてちょっと伺いたいんですけど、そういった行政側の所管するところでないといけないとかという規定があるんですか。

○議長（濱野茂樹君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 集落支援員につきましては、地域の課題を行政との間に入って解決するという立場の役割になりますので、今回、企画観光課所管では観光部門に配置ということで雇用いたしますけれども、地域の実情に応じて違う業務でも集落支援員という雇用は可能かと思っております。実際、地域整備課のほうでは、猿の対策に集落支援員1名雇用をさせていただいております。

すので、業務内容に応じて様々な活動内容が可能かとは思いますが。

○議長（濱野茂樹君） ほかに質疑はありませんか。4番、中嶋議員。

○4番（中嶋 章君） 125ページの舟屋の里公園管理運営費なんですけれども、光熱水費14万2,000円、これは電気自動車の電気代というふうに説明あったんですけれども、充電設備を利用されるのは個々の、その都度利用者が使用料を払っておられると思うんですけれども、電気代はまた別の電気代なんですか。

○議長（濱野茂樹君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） この光熱水費につきましては、急速充電器の電気代です。基本使用料から使った分の電気代を、町のほうで支払いをさせていただきます。利用者の方は充電カードで充電をされると思うんですけれども、それはこの機械を設置しておられる会社に利用料としてお支払いをするものであって、電気代を負担されているものではないのかと思っております。実際、14万2,000円をお支払いするんですけれども、4万円近くは充電使用料相当分ということで、設置会社のほうから電気代相当分のバックをいただいておりますので、実質は10万円分くらいの電気代の負担で充電装置を設置していただいているという形になっております。

○議長（濱野茂樹君） 4番、中嶋議員。

○4番（中嶋 章君） 設備の管理というんですか、そんなのは充電サービス会社が、町はもし故障とかあっても、それは負担されないということなんですかね。

○議長（濱野茂樹君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 議員おっしゃられますとおり、設備の管理については全て設置会社のほうがやられるということで、町の負担等、実務等も一切ございません。指定管理者の実務もございません。

○議長（濱野茂樹君） 質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（濱野茂樹君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

休憩します。11時10分まで休憩します。

休憩 10時58分

再開 11時09分

○議長（濱野茂樹君） 再開します。

休憩前に引き続き会議を開きます。

最初に、答弁保留分について答弁を求めます。千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） すみません、佐戸議員のご質問いただいております地方バス路線補助金について回答させていただきます。

伊根線、蒲入線、経ヶ岬線、3路線で、総額で丹海への市町の負担が約7,100万補助をしておりまして、そのうち伊根町の負担が1,900万強というところで、約27%分を伊根町のほうが負担させていただいております。負担の算定方法につきましては、路線割合ということになっておりまして、各市町、路線が何割程度走っているかによって負担が変わってきます。

よって、伊根線では一番負担が少なく、経ヶ岬線が一番負担が多いということになりまして、トータルで約27%の負担ということになっております。

○議長（濱野茂樹君） 8番、佐戸議員。

○8番（佐戸仁志君） ということは、全く人口割でも何でもないということなんですかね。

○議長（濱野茂樹君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） はい、人口は関係なく、路線の長さ分ということになっております。

○議長（濱野茂樹君） 佐戸議員、よろしいですか。

最後に、9款消防費から14款予備費を対象として質疑を行います。2番、上辻議員。

○2番（上辻 亨君） 145ページ、非常勤職員報酬ということで、教育総務費なんですけど、その伊根定時制の検討委員会を構築するというので、予算がつけられたと思うんですが、どのような方が検討委員会に入って検討されるのか教えてほしいです。

○議長（濱野茂樹君） 石井次長。

○教育次長（石井明博君） 伊根分校跡地活用の検討をする委員なんですけれども、まだ確定はしていませんが、総合計画を策定する際の審議会の委員の方がおられまして、住民代表の方、それから商工とか観光関係、農業委員さんとか、各種分野から出席していただいています。分校の跡地利用についても、いろんな方面からご意見いただきたいと思っていますので、そういった方々に出席していただいて、いろんなご意見をいただきたいと考えております。

○議長（濱野茂樹君） 1番、和田議員。

○1番（和田義清君） 同じ質問なんですけど、今おっしゃったメンバーの中で、専門委員的な、町外とか専門委員とか入れる予定はあるんでしょうか。

○議長（濱野茂樹君） 石井次長。

○教育次長（石井明博君） 地域総合整備財団関係でアドバイザー派遣の事業がありまして、いろんな経営とかアドバイザーを派遣していただく事業を活用いたしまして、ご意見をいただく予定をしております。いわゆるふるさと財団のほうの事業であります。

○議長（濱野茂樹君） 8番、佐戸議員。

○8番（佐戸仁志君） 全く同じところの質問なんですけど、私、この定時制の跡地については、伊根町でも特別な巨大なプロジェクトになるのではないかと考えております。こんなこと言うたら失礼なんですけど、教育委員会の管轄よりも町長部局総務課が管轄して、行政全体でいろんなことを考えていかなければならないと思うんですけど、ご意見がありましたらお願いします。

○議長（濱野茂樹君） 鍵課長。

○総務課長（鍵 良平君） ただいまご意見を頂戴いたしましたように、全庁的なプロジェクトになろうということは想定しておりまして、事務局の窓口としては、現段階では教育委員会事務局ということで想定をさせていただいておりますが、全庁的な、横断的な組織が必要かと考えております。縦割りを廃した協力体制で、全庁的な対応をさせていただきたいというふうに考えております。

○議長（濱野茂樹君） 1番、和田議員。

○1番（和田義清君） 関連なんですけれども、設置期間は1年で予定しておるんでしょうか。

○議長（濱野茂樹君） 石井次長。

○教育次長（石井明博君） 今のところ令和3年度1年で、一定の意見をいただいてまとめたいと考えております。

○議長（濱野茂樹君） 2番、上辻議員。

○2番（上辻 亨君） 151ページ、学校管理運営費の中で、賄材料費ということで534万3,000円という金額が上がっておるわけですが、今回この賄材料費ということのこの金額、伊根町では1か月の小学校の給食費が4,200円、中学校が4,500円。全国平均では小学校が4,300円、それから中学校では4,941円。ちょっと何か若干低いように、伊根町の場合はもうちょっと予算的に何か安いような気がするんですけども、どのような計算でこの数字を出されたのかお聞かせください。

○議長（濱野茂樹君） 石井次長。

○教育次長（石井明博君） 給食費につきましては、過去の単価から徐々に上がってきておりまして、平成26年では伊根小が3,700円、本庄小が3,800円、伊根中が4,000円と。そこからずっと同じだったんですけども、ちょうど無償化のときに伊根小も4,000円台に上げました。昔はうみゃーもの日とか、そういう推進する地産地消の事業がありまして、補助金も入っていたんですけど、それがなくなった時点で、平成28年で単価を上げています。そこからずっと経営といいますか、給食費が足りないというご意見をいただいたときに、相談を上げてきた経過がありまして、今回も昨年度から本庄小学校、また伊根中学校の単価がちょっと足りないという相談を受けて、学校と相談して出した単価によって計上をさせていただきました。

○議長（濱野茂樹君） 2番、上辻議員。

○2番（上辻 亨君） 小学校の生徒の食べる量と、また中学校の食事する量は多分違うと思うんです。また、賄い材料ということで、地元の野菜だとかそういうのに購入に当たって、何か地元の業者の方が親切味を持って安く入れているような気がして、妥当な金額でお支払いをできたらして

あげて、そういった金額計上もうちよつと単価上げてもいいんじゃないかなと僕は感じておるわけですが、地元業者のそういう食材を購入される場合、圧迫しないようにしていただきたいと思います。

以上です。

○議長（濱野茂樹君） 石井次長。

○教育次長（石井明博君） おっしゃいますように、野菜を少量持ってきていただいて、ほとんどもうからないというような実態はあると思います。今後そういう方々と話し合いながら、改善していきたいと思います。

○議長（濱野茂樹君） 6番、大谷議員。

○6番（大谷 功君） 同じく賄い材料なんですけど、今年度から給食会計を公会計化するというところで聞かせてもらっとるんですけども、よその学校でしたら給食費は全て学校側が保護者からお金をもらったり、収受関係もするということなんですけれども、伊根町の場合はそういうこともないんで、事務負担軽減と透明化ということで聞かせてもらったんですけども、どの程度の事務負担の軽減になるのか、透明化になるのか、言わば公会計化に踏み込んだ理由というのをもう少し詳しく教えてください。

○議長（濱野茂樹君） 石井次長。

○教育次長（石井明博君） 全国的に公会計化が進められている背景としましては、学校の事務職員の負担軽減のため、例えば給食費の徴収ができないときでも、給食をずっと提供していかなければならない、そういうところの事務負担を軽減するのと、予算面で確保するという点があります。伊根町におきましては、無償化によって保護者から徴収することはありませんが、補助申請等の事務は引き続き残っております。

それから、給食材を買ってきて支払いに行くのに、毎回、金融機関に行って支払いをしております。そういう点が一般会計に入れることによりまして、金融機関に行かなくても支払い処理ができる点がメリットがあります。

それから、伝票が教育委員会、それから出納室まで回って最終的に支払いがされるという点で、そういうチェック体制といいますか、公金としてしっかりと管理できるというところで、透明性の確保ができると考えております。主にはその2点です。

○議長（濱野茂樹君） 1番、和田議員。

○1番（和田義清君） 予算書152ページと153ページの小学校費の学校ICT環境整備事業、昨年度よりプラス190万の増。あわせまして、同じく158から159ページの中学校の運営費も、同じく学校ICTの整備事業が前年度プラス100万円で計上されております。

全協で、業務委託の中で校務の支援システムということで、外部から専門員を1学期の途中ぐらいから雇用されて、毎日ではないですけどもやっていくというご説明を受けました。私のちょっと聞き違いか聞き漏らしか分からないんですけども、確認したいのが、この校務支援システムに入れる外部からの専用職員というのは、小学校は小学校、中学校は中学校、別々に雇われるのか、同じ人を小学校と中学校に分けてされるのか、その辺が分かれば教えていただきたいんですが。

○議長（濱野茂樹君） 石井次長。

○教育次長（石井明博君） ちょっと早口で説明しましたので、分かりにくかったかと思います。

校務支援システムと支援員は全く別のものでして、校務支援システムの経費といいますのは、令和2年度に導入しました、児童生徒の成績を管理したり通知表を出したりという学校の教職員が使用するシステムを、今まで自前でしていたのをシステム化するというところで、その運用経費がここに乗っかってきたといいますか、その経費がこの事業に計上しております。

それとは別で、GIGAスクールで各タブレット端末を今年度整備して、本格的にタブレット端末を活用して授業が始まるときに、教職員がどのように使ってどういう活用ができるのかというのを支援したいと考えておまして、その専門職の方を小中学校を通して1名業者さんから派遣いただいて、1学期の間の結構単価が高いので、毎日じゃなくて何回かで派遣して、いいスタートダッシュを切りたいということで計上いたしました。

○議長（濱野茂樹君） 1番、和田議員。

○1番(和田義清君) 私も勘違いしております、丁寧な説明ありがとうございました。

ICTに関しましても、GIGAスクールということでなかなかまだ実態というか実感がつかめない中、スタートをされるんですけれども、当町は全戸にいねばんというタブレットを配っております、一定のそういった情報基盤の整備が他市町よりも私は進んでいると自認しております。

例えばこの辺のICTであるとかGIGAスクールで、この辺の予算の中に専門員の方を招いて支援をして、学校の先生方がタブレットなりをしっかりと運用して、学校運営に役立てるといことなんですけれども、過日、実は伊根中学校の学校評議委員会がございまして、その中で昨年1年コロナ禍で学校との連携が取れずに、学校運営の中身がちょっと分からなくて不安だったという保護者の意見があったんです。

今後この予算もしっかり活用していただいて、コロナ禍で学校に来られない分、学校の様子とかがあまり子供を通して保護者さんが分からなかったということがございましたので、そうであれば、いねばんタブレットの双方向性で、学校の様子を保護者の方々に伝えられるというような方法は取れないかなと思って、この辺の予算を活用してやっていただきたいと思うんですけれども、その辺は可能でしょうか。

○議長(濱野茂樹君) 千賀課長。

○企画観光課長(千賀和孝君) すみません、企画のほうから、いねばん所管課ということでご回答させていただきたいと思うんです。

学校で撮った動画を流すということは、技術的には可能かと思えます。ただ、その際には、何度もご説明をさせていただいているんですけれども、通信料の問題が発生しますので、現在のいねばんの行政情報配信という中の想定している通信料で収まるのか、それ以上の通信料が発生してしまうのかという検討が必要かと思えます。技術的なところと費用的な面を検討した上で、そういったことも内部で協議、調整はさせていただきたいと思えます。

○議長(濱野茂樹君) 1番、和田議員。

○1番(和田義清君) 答弁に出てきましたように、動画等になると重たくなって通信費がありますんで、その辺は今後の動向というか、通信料の軽減とかその辺を見極めて、メール的なものでも多分保護者の方は安心されるかなと思えますんで、その辺の状況に応じた形でやっていただければというふうに思います。

○議長(濱野茂樹君) 予算の関連と少し離れているようでございますので、答弁は結構でございます。

ほかに質疑ありませんか。3番、長谷川議員。

○3番(長谷川貴之君) 予算書153ページです。

工事請負費の中で、学校の外壁の亀裂また小学校のバックネットの撤去、前のページにも関連するんですが、業務委託で建物耐力度調査ということでご説明をいただきました。その中でコンクリート片の落下等があるということをお聞きしております。現在、カラーコーン等で対応しているということなんですが、落下の規模であったり、カラーコーンで果たして子供の安心・安全を守れるのか、度合いによってはバリケード等で完全に進入できないようにするような対策も必要ではないかと思うんですが、その辺をお聞かせください。

○議長(濱野茂樹君) 石井次長。

○教育次長(石井明博君) 本庄小学校で、具体的にコンクリートの破片が落下いたしました。令和2年度に発覚したものは1つでして、大きさとしては50cmほどのもので直径が5cmほどの重い物です。落下しそうな箇所について、把握をしております。近寄らないためのカラーコーンの設置とバーによりまして、囲っているという状況です。ふだん出入りする箇所については、そういうものがないので囲っておりません。子供のほうにも校長のほうから近寄らないようにという指導で、今は対応しているということです。早く落ちそうなところをもう落としてしまうという工事を急いでほしいという状況であります。

○議長(濱野茂樹君) 7番、松山議員。

○7番(松山義宗君) 144、145ページの検討委員会について、再度ちょっと質問をさせていただきたいんですが、あそこの跡地利用というのは、行政側からのもう既に京都府への要望で、

あそこに建てるものというのが決まっているんじゃないかなと思っっているんですけども、そのために補助金の要請もあったようですし、それを含めて小学校のそういった耐震化にすごくお金がかかるということを鑑みると、小学校の統合なんかもいずれは視野に入れた考え方があるのかなというふうに思うんですが、そのあたりを町長のお話いただける範囲内で、今年度予算に向けてお願いしたいと思います。

○議長（濱野茂樹君） 吉本町長。

○町長（吉本秀樹君） 跡地利用については、これから検討委員会を設けてみんなで話し合うのであって、いろいろと京都府さんなり、いろんなところのオブザーバーも含めて検討会を開きます。今から開くのに、その場所に何を建てるか一切決まっています。そんなこと、じゃ何のために開くのか、意味がなくなりますよね。そんなことを今、我々は決めたりはしておりません。

京都府への補助金要請もしていませんよ。

府営住宅だったら京都府が持つの当たり前ですし、府営住宅建ててくれるなら。金くれなんてことは言うてへんですよ、何も。そんなことはないですね。

小学校の統合問題、これですね。中学校を統合したときに、小学校も統合しようということは、それこそ検討委員会で決定事項出ておりました。しかしながら、それについてはPTA、地元の皆さんのせんでもええ、そういう意見がありまして、それに基づいて小学校は統合しませんでした。そのときいわゆる諮問委員会の決定を、住民の皆さんのその気持ちを汲んでなくしたわけですね。決定を覆した。置いた。私、そのときに申し上げましたね。もう皆さんの意見を尊重して、住民の皆さんの、PTAの意見を尊重して、小学校は統合しません、置いておきます。ですから、しませんよと。たとえ1名になってもしません。ゼロになったら無理ですけどもね。たとえ1名でも生徒がおる間は統合しません。それも周知の事実ですね。

でも、住民の皆さんや父兄の皆さんの要望があれば、そのときはまた検討いたします。そのとき要望されるときは、どこに造れ、ここに造れというような条件つきで要望されたら困ります。統合をするのかしないのか、皆さんの意見が統合するという意見になれば、我々も考えます。その方向で考えざるを得んでしょうね。そうお答えしておりますので、その線に沿ってこれからも進めさせていただきます。

以上です。

○議長（濱野茂樹君） 7番、松山議員。

○7番（松山義宗君） 142、143ページです。職員人件費について伺います。

前年度よりも1,000万ぐらい増えているように思うんですが、どなたか新しい職員さんを入れられるという計画があるのでしょうか。

○議長（濱野茂樹君） 鍵課長。

○総務課長（鍵 良平君） 保育費ですが、人件費でございますので、私のほうから答弁をさせていただきます。

給食職員の復職によって、前年度当初と今年度当初予算の差が出ております。強化、増員というものではございません。

○議長（濱野茂樹君） 8番、佐戸議員。

○8番（佐戸仁志君） 165ページの筒川文化センター管理運営費なんですが、教育次長が先日の会議の中で、K a R a よもぎの電気代をずっと払っていたということを謝られましたが、筒川文化センターも宿泊を現在やめておられます。運営委員会があるということは、やめるかやめないか、これ以上のことを、ということを検討されていると思うんですが、細かいことなんですが、この中にも様々ピアノの調律だとか、必要ないようなことがいろいろと書かれているんですが、テレビの受信料とか。決定を早くして、年間211万の予算が見てありますが、不必要なものは出費しないようにしたほうがいいんじゃないかと思いますが、その辺についてどうでしょうか。

○議長（濱野茂樹君） 石井次長。

○教育次長（石井明博君） 文化センターについては、宿泊を停止しております。宿泊に必要でした予算、例えば寝具のリースとか、そういったものは予算化をしていないという点で、減額にはなっております。あと、テレビの受信料につきましても、宿泊部分の部屋で使っていたものについて

は、契約を打ち切るというような形を取っておりまして、これで最低限のものだけ残したつもりではありますので、今年度につきましてはこの予算で執行したいというふうに考えております。

○議長（濱野茂樹君） 8番、佐戸議員。

○8番（佐戸仁志君） 業務上というか、仕事上、知り得た情報をまたしゃべって申し訳ないんですが、教育委員会の職員の方から、去年か一昨年に3階の宿泊用の居室につけたエアコンの撤去をしたらどのくらいかかるだろうかというような相談もされたこともございますし、今、町営住宅の古いトイレの修理をしてくれと言われておりまして、相当古いトイレなんですけど、何とか直らんかと言われておることもございます。

伊根町の行政の中で縦割りをなくして、嫌ですけども、筒川文化センターの3階につけたトイレもまだ新しいです。これを町営住宅に持って行ってつけ替えてくれとか、例えば総務課の2階に去年、入札か何かでエアコンつけましたが、あれだって文化センターのやつを外して持っていったりするというのもできると思うんですが、役所の中でいろいろと話をして、やっちはどうかなと思うんですがどうでしょうか。

○議長（濱野茂樹君） 石井次長。

○教育次長（石井明博君） 佐戸議員のおっしゃることはごもっともだと思います。教育委員会としましても、自分の抱えている施設だけで利用できないかというようなことを思っておりますので、この新しい物品があるけれども今後活用の見込みがないというようなことは、お知らせするようなことも必要だなと考えています。

○議長（濱野茂樹君） 暫時休憩します。

休憩 11時43分

再開 11時45分

○議長（濱野茂樹君） 再開します。鍵課長。

○総務課長（鍵 良平君） 筒川文化センターの宿泊はコロナ禍の影響で現在休止をさせていただいております。廃止したわけではないので、施設としてはそのまま維持するというところでございます。

○議長（濱野茂樹君） 1番、和田議員。

○1番（和田義清君） 関連質問なんですけれども、全協のときにお伺いしたのは、今おっしゃったようにコロナ禍で宿泊は今休止をしておると。経費もかかることから、これまでの利用実績も踏まえて、恐らくここにあります運営委員会さんがございますので、そこに問いかけしましたところ、もう一定の役割を終えたので、新しい形で、それがどういう形なのかちょっと具体的には聞いていないんですけれども、運営委員会さんのほうからそういうお話が出るとということで、そのお話は説明していただいたときの全員協議会、事実でいいんですね。

○議長（濱野茂樹君） 石井次長。

○教育次長（石井明博君） 運営委員会で今後の在り方についてご意見をお聞かせいただいて、もう文化センターの役割は終えたんじゃないかというようなご意見をいただいたのを報告はさせていただいたところです。

○議長（濱野茂樹君） 1番、和田議員。

○1番（和田義清君） というのは、決定ではなくてそういう意見があったという認識でよろしいんですね。

○議長（濱野茂樹君） 石井次長。

○教育次長（石井明博君） そういう意見があったということで、今年度さらにその内容で進めるのかを地域のほうに入ってご意見いただきたいと思っています。

○議長（濱野茂樹君） 6番、大谷議員。

○6番（大谷 功君） 145ページの真ん中の事務局費の医師の報償金です。

教員の勤務実態が厳しいので、必要なときに医師の面談を行うということなんですけど、働き方改革を進めているかということで説明受けたんですが、どのような働き方改革がここ近年進められてきたのか、分かる範囲でお聞かせ願いたいのと、根本的に先生を増やせばこれは解決するのかなと僕は思っておるんですけども、そういうても一長一短に進まないのが人事のことなんで、メンタ

ルでデリケートな部分でありますので、医師の面談というのは定期的に行うことが必要なかなと思うんですけども、医師の面談の方法についてお聞かせください。

○議長（濱野茂樹君） 石井次長。

○教育次長（石井明博君） 働き方改革の推進につきましては、例えば今年度でいいますと、校務支援システムの導入とかそういったもので、事務の効率化を図っているというようなこととか、給食の公会計にしてもそういう意図もあります。これまで産業医としてこういうドクターと面談する必要があるにもかかわらず、予算措置がされていなかったのを改善したいということで計上いたしました。

今のところは、一定の時間外勤務がある方で疲労が見られて、希望された教職員に面談できますよということで、対応したいというふうに考えております。常日頃から相談できる、時間を設けてというところでは、ちょっと若干予算は足りないかなというふうに考えます。

○議長（濱野茂樹君） 6番、大谷議員。

○6番（大谷 功君） こういう働くということは、やっぱり頑張ってしまうんですね、個人はねですから、そういう本人が診てくれというんではもう遅いと思うんです。だから強制的に、こういう面談を定期的に行えるようなシステムを今後検討していただきたいと思います。

以上です。

○議長（濱野茂樹君） 5番、山根議員。

○5番（山根朝子君） 関連してですけれども、先生方はすごい疲れているという状況だと思うんですが、定期的にストレス度チェックとか、そういううつ病とか、心身のこたえているという、そういうチェックを行うようなことはされているんですか。

○議長（濱野茂樹君） 石井次長。

○教育次長（石井明博君） 現在、教職員の健康診断の中にストレスチェックは、項目は入っていないんです。教職員の共済組合のほうでそういう制度がありまして、そちらを案内しているという状況です。

○議長（濱野茂樹君） 1番、和田議員。

○1番（和田義清君） 関連なんですけれども、この医師というふうに想定されている医師というのは、学校医以外ということですか。

○議長（濱野茂樹君） 石井次長。

○教育次長（石井明博君） 学校医以外とか、そういう取り決めは、今のところ制約を設けないつもりです。学校医であり、産業医でもあることもあり得るというふうに考えております。

○議長（濱野茂樹君） 5番、山根議員。

○5番（山根朝子君） 147ページの外国青年招致事業ですけれども、今のAETの先生は3月19日までということで。そしたら、もうすぐに代わりの先生がお見えになるということでよろしいのでしょうか。

○議長（濱野茂樹君） 石井次長。

○教育次長（石井明博君） この制度については紹介する機構がありまして、そちらから派遣していただいて、その契約に基づいて来ているということで、途中でこういう退職になった方で、残り期間が少ない中で募集するタイミングもありまして、申し訳ないんですけども、8月の交代される方が来られるまでは不在という形の運用となります。

○議長（濱野茂樹君） 5番、山根議員。

○5番（山根朝子君） すみません、それで児童や生徒たちへの学習の面では、特に問題ないといったらちょっと語弊がありますけれども、そういう代わりの何か対応を考えると、そういうことは別にしなくてもいいのでしょうか。

○議長（濱野茂樹君） 石井次長。

○教育次長（石井明博君） 生の英語に触れる機会が少なくなるという点で、影響は絶対あると思います。教える教員については途切れることなく授業を行いますので、しばらくの間はもうちょっと対応が難しい状況であるということしか、ちょっと今はお答えすることができません。

○議長（濱野茂樹君） ほかに質疑はありませんか。質疑がないようではありますが、これで質疑を

終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(濱野茂樹君) 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

休憩します。13時まで休憩します。

休憩 11時56分

再開 12時59分

○議長(濱野茂樹君) 再開します。

休憩前に引き続き会議を開きます。

◎ 日程第3 議案第2号

○議長(濱野茂樹君) 日程第3、議案第2号 令和3年度伊根町国民健康保険特別会計予算を議題とし、これから質疑を行います。

なお、質疑は慣例により、国民健康保険特別会計事業勘定歳入歳出予算を一区切り、伊根診療所勘定歳入歳出予算及び本庄診療所勘定歳入歳出予算を一区切り、合計2区切りとして行いますのでよろしくをお願いします。

それでは、初めに国民健康保険特別会計事業勘定歳入歳出予算を対象として質疑を行います。

2番、上辻議員。

○2番(上辻 亨君) 198ページ、保健事業費ということで、これは特定健診の事業費だと思うんですけども、説明では特定健診を受けられる方が、今年度は240人しか見込まれていない。これ前年度よりちょっと少なくなっているように感じます。コロナの影響でこういったようなことになっておるのか、それとも自分たちで健診を受けられておるのかが1点お聞きしたいのと、あとは、昨年はコロナの影響で、特定健診を受けるのが12月だったと思うんです。大変寒い時期だったということもあって、健診を受けられる方が、特定健診は部屋の中なんですけれども、レントゲンとか外でバスを待っているという関係で、寒いのに出たり入ったり、何かそれがすごい心配になったわけなんですけれども、今年も12月に特定健診を予定されているのかお聞きしたいです。

○議長(濱野茂樹君) 増井課長。

○住民生活課長(増井和彦君) 上辻議員のご質問の一部について説明をさせていただきます。

町の総合健診の受診者は、今年の見込みですけれども、240人ということで計上させていただきました。減額の要因としましては、保健センターからの数値見込みでして、健診人数の見込みの減ということで聞いております。

○議長(濱野茂樹君) 石野課長。

○保健福祉課長(石野 靖君) 特定健診もしくは総合健診、がん検診あたりのことかと思います。

開催時期がずれ込んだことについてですが、令和2年度は5月開催で準備を進めておりました。もう実際、受診の希望者にも調査をし、実際の時間の通知をしようという段階になりまして、5月といいますとコロナがどのような状況になるか分からない中で、ちょっと開催を見合わそう、延期可能なら延期しようというふうにさせていただきました。その中で、健診を実施できる業者はもう1年間の計画を持って動いておられまして、健診が延期できる可能な時期があつたということで、もうやむを得ずあの時期の開催とさせていただいたという事情があります。

○議長(濱野茂樹君) 石野課長、今年度についての答弁をお願いします。

○保健福祉課長(石野 靖君) ただいま業者と調整中ではありますが、令和2年度の当初の予定のような春先とはなりません、秋頃、9月、10月のあたりで、今、日程を調整しているところであります。

○議長(濱野茂樹君) ほかに質疑はありますか。

事業勘定について質問がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(濱野茂樹君) 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

次に、伊根診療所勘定歳入歳出予算及び本庄診療所勘定歳入歳出予算を対象として質疑を行います。

す。上辻議員。

○2番（上辻 亨君） 伊根診療所、本庄診療所勘定にもあるんですが、ページ数でいいますと、伊根診が218ページの在宅酸素療法機器のリース代ですね、これ約260万あるんです。両方、機器に対する二百何万かという金額が計上されておるわけですが、これはリースでなければいけないものなのか、それともリースのほうが安価にできるものなのか、ちょっとお示してください。

○議長（濱野茂樹君） 増井課長。

○住民生活課長（増井和彦君） 上辻議員の在宅酸素のリース料についての質問だったかなというふうに思っております。

これにつきましては、現患者さんの実数、実人数に合わせて予算を計上しております。ということから、購入よりもリースのほうが安価になるという計算のもとから、リースでの対応とさせていただいております。

○議長（濱野茂樹君） ほかに質疑はありませんか。質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（濱野茂樹君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

◎ 日程第4 議案第3号

○議長（濱野茂樹君） 日程第4、議案第3号 令和3年度伊根町簡易水道特別会計予算を議題とし、これから質疑を行います。6番、大谷議員。

○6番（大谷 功君） 253ページの公営企業会計適用事業債ですが、令和5年度に向けて会計システムが変わるということなんですが、これは会計システム上変わるということだけで、水道事業の運営については何ら変わらないという理解でよろしいでしょうか。

○議長（濱野茂樹君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 水道事業の運営。

予算のほうが公営企業化になるということで、これまでのようなこのような会計でなく、貸借対照表とか普通の企業の財務会計と同じになるということで、ただし、運営はそのままになります。

ただ、出納閉鎖期間がないとか、そういう公営企業会計の縛りのほうで進めていかんなんようになるということで、ちょっとすぐには移行できないので、年数をかけて移行準備をしているというところでございます。

○議長（濱野茂樹君） ほかに質疑はありませんか。2番、上辻議員。

○2番（上辻 亨君） これはちょっと議長が認めてくれたらと思う質疑になると思いますが、ちょっとお聞きしてもらっていいですか。

水道事業費、歳出のほうで維持管理費というところで、今は新しい施設になって水道施設が管理されているわけですが、旧施設の管理事業というのは、これには一切含まれておらないのでしょうか。

○議長（濱野茂樹君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 上辻議員のおっしゃる旧施設と今の施設の区別がちょっと分からないんですが、今、使っている施設全てを管理しております。

○議長（濱野茂樹君） 2番、上辻議員。

○2番（上辻 亨君） ということは、日出地区だったら日出の沢の上がり口にあたりとか、伊根だったら水道の前の施設ありますよね。菅野地区だったらちょっと上のほうにあるんですけども、古い建物があって、そういうところの管理運営費はこれには含まれていないというふうに。

○議長（濱野茂樹君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 本庄宇治に浄水場ができて、そこからずっと本管布設替えをして、給排水管替えていった折の旧施設、それまでの使っていた施設については、今、管理はしてありません。したがって、筒川南でも昔集落にあった古い施設は管理はしてありませんので、そのときに整備した施設で今は給水しておりますので、給水している施設を管理しとるというふうに認識していただけたらと思います。

○議長（濱野茂樹君） 1番、和田議員。

○1番（和田義清君） 予算書の256、257ページの簡易水道改良費のところ、1,291万7,000円の増というところで、全協の説明では送水管、朝小近くのそちらの修理というふうにお聞きしていたんですけれども、町内の水道の長寿命化整備は、他市町に比べてうちはかなり終わっているというふうに聞いていましたけれども、これを今年度6,281万2,000円ですか、この工事を完了することによって、ほとんどもう長寿命化整備をするところはないというような認識でよろしいでしょうか。

○議長（濱野茂樹君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 全協で説明しましたのは、長寿命化工事、漁港でいう長寿命化保全計画と一緒に、老朽化した施設の改修を行うというもので、その費用は、この工事請負費の中では4,500万円を計上しております。これが補助対象事業となっております。それ以外の工事費につきましては、ポンプが古くなったから改修が必要とか、それから取水施設がちよっと砂がたまって、取りにくくなったので改修があるとか、そういう維持工事も含めた総額の工事請負費となっております。

ですから、長寿命化に係る工事費としましては、4,500万円がこの中に含まれておることと、あと、いつまで続くかということですが、今のところ予算のつき具合では4年度か、長くても5年度ぐらいには終わる見込みで進めております。

○議長（濱野茂樹君） ほかに質疑はありませんか。質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（濱野茂樹君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

◎ 日程第5 議案第4号

○議長（濱野茂樹君） 日程第5、議案第4号 令和3年度伊根町下水道事業特別会計予算を議題とし、これから質疑を行います。8番、佐戸議員。

○8番（佐戸仁志君） 270ページの総務費の中で、維持管理費1,882万3,000円、施設整備費2,656万3,000円、この2つが本庄浜地区、新井地区、蒲入地区、伊根地区の排水処理施設の更新工事だと思われませんが、細かくなくてもいいんですが、内訳を教えてくださいと思います。

○議長（濱野茂樹君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） すみません、細かくなくてもと言われても、ちょっと一くりに細かくしかありませんので、主立ったものを説明させていただきます。

浦島漁港ではポンプ類、それからこれは消泡ポンプ、泡を消すポンプです。それからその他の機械設備としては、荒目スクリーン、微細目スクリーンといまして、ごみが来たときの粗ごみを処理するスクリーンです。それから動力制御盤、それから電気設備として、いろいろなスイッチとかライト、サーモスイッチ、電磁流量計、これなどがあります。これら全て足しますと、1,300万程度になろうかと考えております。

蒲入浄化センターでございますが、これについては放流ポンプ1つと、それから電気設備引き込み盤の修繕、これらでも80万円程度。

伊根漁港では、先ほど申しました浦島と同じように、微細目スクリーン、細かい目のスクリーンでごみを除去する機械ですが、これが約100万円程度、それからさらに伊根漁港では、真空ステーションで循環ポンプと真空計で220万程度。

最後に、浦島漁港の中継ポンプが3つあるんですが、これらの電気設備が600万円程度というような内容となっております。

これのうちの全部ではありませんが、予算の範囲内で直していくということで、それ以外はまた次年度以降にするという計画にしております。

○議長（濱野茂樹君） 8番、佐戸議員。

○8番（佐戸仁志君） 双方合わせて四千四、五百万になると思うんですが、今の説明で全てです

か。

○議長（濱野茂樹君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） これが一応今回の計画で、ピックアップされた事業と新井漁港も汚水ポンプが100万ということで、1か所ありますので、これを全て順次必要なものから予算の範囲内でしていくということで、質問にはございませんでしたが、3年度と4年度で完了できればと考えております。

○議長（濱野茂樹君） 8番、佐戸議員。

○8番（佐戸仁志君） 真空ポンプの更新を聞き漏れたような気がするんですが、伊根浦の。

○議長（濱野茂樹君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 伊根の真空ステーションの汚水循環ポンプも更新を予定しております。年数はまだそんなにたっておりませんが、故障しておるので、補助事業でこの際更新しようというものです。これ、220万円です。

佐戸議員、施設管理のほうの事業費もおっしゃられましたが、ただいま更新の費用につきまして、漁業集落排水事業費の工事請負費で行うものでありまして、施設管理費のほうでは工事費はございませんので、保守点検等業務委託のほうで、光熱水費やそちらのほうの費用で歳出があるというものでございます。長寿命化関係につきましては、2款のほうの漁業集落排水事業費で行っていくというものでございます。

○議長（濱野茂樹君） 8番、佐戸議員。

○8番（佐戸仁志君） 伊根の漁業集落排水施設の工事に前に、舞鶴の神崎に議員で視察行ったり、いろいろと排水施設の形式を見させていただいたりしたんですが、やっぱり伊根地区の漁業集落排水は真空型ということで、故障が多いような気がいたしますし、費用もかかるような気がいたしますけれども、それはどうなのでしょう。

○議長（濱野茂樹君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 故障の主な要因が、まず1つは流してはいけないものを流して、詰まって真空が取れないということがよくあります。これ住民さんではなくて、ひょっとしたらどこかの公衆トイレでそういうものが流れたのかなということも、詰まるものを見たら普通の家庭では出んようなものかないうときもありますので、改修工事のときにきれいに清掃ができなくて、端材が詰まって真空が取れないということもございまして、結構、最初の頃はそういう原因がよく分からないうちに、真空が取れないということで右往左往したことはございますが、最近はだんだんとその要因も分かるようになりまして、それに対する対策、そういう異物が詰まる場合は定期的に掃除をするとか、そういう対応をして、極力故障がないようにしたいと思いますが、故障の原因は全て真空が取れるか取れないかの要因でありまして、物理的な要因ということで、それがどこにあるかを早く発見するのに時間がかかると迷惑はかかりますが、今のところ下水道を使わないでくださいという放送はせずに済んでおりますので、何とかうまく運営できるとかなと思っております。

それから、神崎のこともおっしゃられましたが、何か新たなことがあったら、舞鶴市に電話して情報を共有して、こういうことなかったですかということで経験したところにも聞いておりますので、その辺はしっかりと情報共有しております。

○議長（濱野茂樹君） ほかに質疑はありませんか。質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（濱野茂樹君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

◎ 日程第6 議案第5号

○議長（濱野茂樹君） 日程第6、議案第5号 令和3年度伊根町財産区特別会計予算を議題とし、これから質疑を行います。質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（濱野茂樹君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

◎ 日程第7 議案第6号

○議長（濱野茂樹君） 日程第7、議案第6号 令和3年度伊根町介護保険特別会計予算を議題とし、これから質疑を行います。質疑はありませんか。質疑なしの声がありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（濱野茂樹君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

◎ 日程第8 議案第7号

○議長（濱野茂樹君） 日程第8、議案第7号 令和3年度伊根町訪問看護事業特別会計予算を議題とし、これから質疑を行います。8番、佐戸議員。

○8番（佐戸仁志君） 339ページの中段当たりの死後の処置料なんですけど、質疑でお聞きしたところによりますと、1回1万円、3件の予算計上だとお聞きしました。

私も母親が亡くなったときに訪問看護の方が2人来られて、きれいに生きていたかのように死に化粧をしていただきまして、大変感動し、感謝いたしておりました。年間3件というのは、いかにも伊根町の死亡者の中でいいですと少ないような気がいたしますが、訪問看護を利用されていた方が亡くなった場合にされるのか、ご希望があればどなたにでも訪問看護さんが来てしてくれるのか、その辺をお聞かせ願いたいと思います。

○議長（濱野茂樹君） 増井課長。

○住民生活課長（増井和彦君） 佐戸議員の質問にお答えします。

最近の件数なんですけれども、令和2年度現在で3件、それから令和元年度は8件、平成30年度は5件という感じで推移はしております。予算計上としましては、あまり多くならないような計上とさせていただいております。

それから、利用の対象者につきましては、訪問看護利用者のみということで予定しております。

○議長（濱野茂樹君） ほかに質疑はありませんか。質疑なしの声がありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（濱野茂樹君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

◎ 日程第9 議案第8号

○議長（濱野茂樹君） 日程第9、議案第8号 令和3年度伊根町後期高齢者医療特別会計予算を議題とし、これから質疑を行います。質疑はありませんか。質疑なしの声がありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（濱野茂樹君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

以上で、令和3年度伊根町一般会計予算及び7特別会計予算の全ての質疑が終わりました。

全ての会計を通して何か質疑がありましたら、これを受けることといたします。1番、和田議員。

○1番（和田義清君） すみません、質問漏れしておりましたので、1点質問したいと思います。

予算書76、77ページから78、79ページにかけてなんですけど、高齢化対策推進事業で79ページのほうに節のところに保険料と自動車共済と運転業務というところで、それぞれ3万8,000円、3万8,000円、15万9,000円というふうに予算計上をさせていただいております。買い物支援によるものだというふうにご説明を受けておられますが、この予算づけというのは、昨今、町のほうにもご報告しに来ていただいた全農さんのエコープが4月末閉店という、最近分かった事態なんで、その時点ではこういう予算づけをされたのかなというふうに思うんですけども、この時点の予算づけというのは、4月末のエコープはまだずっとあって、月に2回買い物支援をするという、そういう想定での予算づけという理解でよろしいでしょうか。

○議長（濱野茂樹君） 石野課長。

○保健福祉課長（石野 靖君） 議員申されますように、この予算につきましては、11月、

1 2月ぐらいから編成作業に入っておりましたので、エーコープさんがあるものとして予算は計上させていただきます。

○議長（濱野茂樹君） 2番、上辻議員。

○2番（上辻 亨君） 127ページの観光施設整備事業ということで、新しいトイレができるということで、先ほど下水のところでは課長のほうが、普通では入らないような異物の混入があると、下水道に支障が出るということの説明があったと思うんですが、今度新しいトイレを新設するに当たりまして、そういうことも考慮して事業を進めていただきたいと思いますがいかがですか。

○議長（濱野茂樹君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） ありがたい質問でございます。

技術的にはそういう対応はできないと思いますので、皆さんへのマナーの啓発しかないかなと思っております。

○議長（濱野茂樹君） 5番、山根議員。

○5番（山根朝子君） 152ページの教育振興費で、小学校のスキー教室の予算が今回計上されていないというふうにお聞きしましたが、すみません、そもそもスキー教室は何で始まったのかというのと、ウインタースポーツに親しむということでしたら、何かほかのことが考えられないかと思うけれども、スケート場もちょっと遠いしやっぱり難しいのか、でもやっぱり何かしてあげてほしいなという気がするんですけども、そこら辺はどうお考えですか。

○議長（濱野茂樹君） 石井次長。

○教育次長（石井明博君） スキー教室はこちらの地方、雪が降りますので、雪を生かした運動ということで始まったものと思われませんが、そもそもどうしてかというのは、ちょっと把握は今できていない状況です。

近くにスイス村があったので行けていたんですけども、遠方ということで児童の負担もあって、今年度からは予算化はしておりません。雪がせっかく降りますので、周囲でできるような内容で、学校のほうで工夫をしながらできたらなというふうに思っています。

○議長（濱野茂樹君） ほかに質疑はありませんか。質疑なしの声がありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（濱野茂樹君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

◎ 散 会

○議長（濱野茂樹君） 以上で、本日の日程は全部終了しました。

本日はこれで散会します。

なお、16日の本会議については休会とします。最終日3月18日は午前9時30分から開催の予定で、冒頭、一般質問から行いますのでよろしくお願ひします。お疲れさまでした。

散会 13時40分

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

伊根町議会議長

署 名 議 員

署 名 議 員